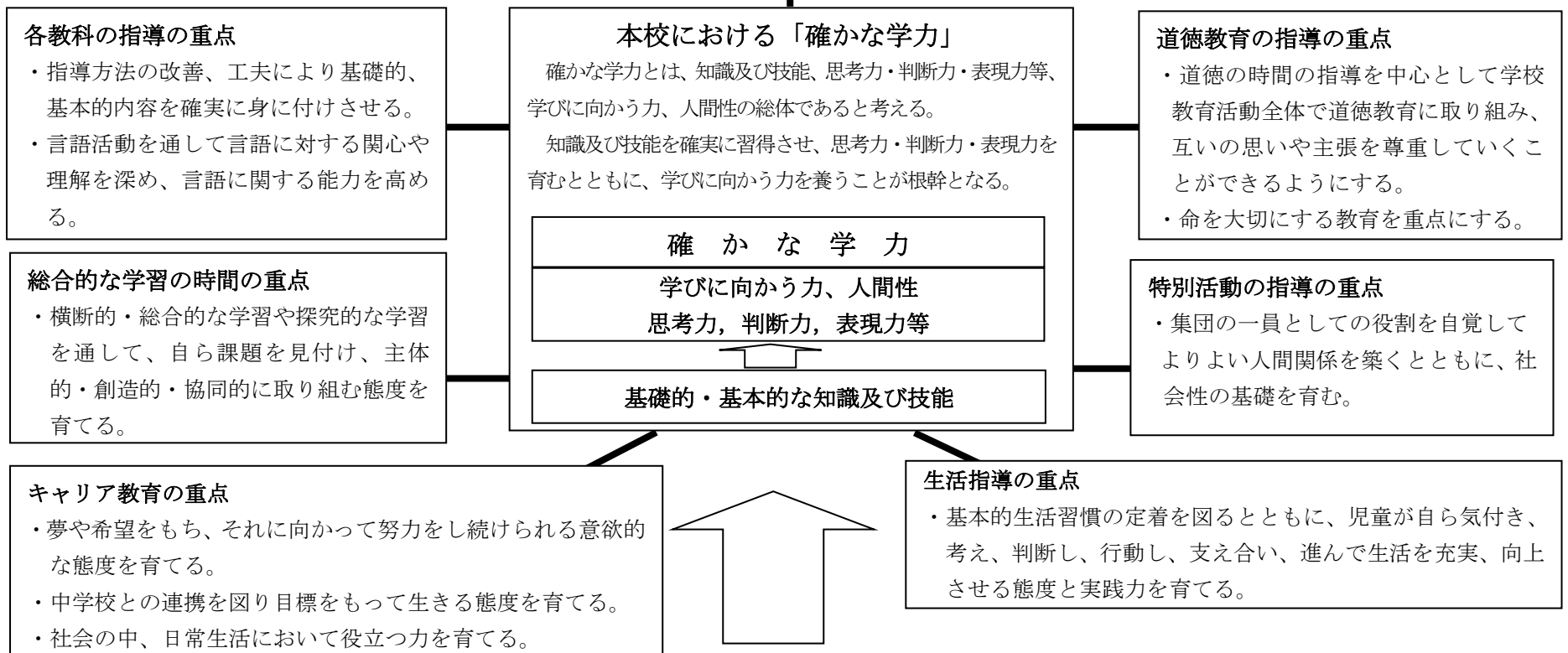
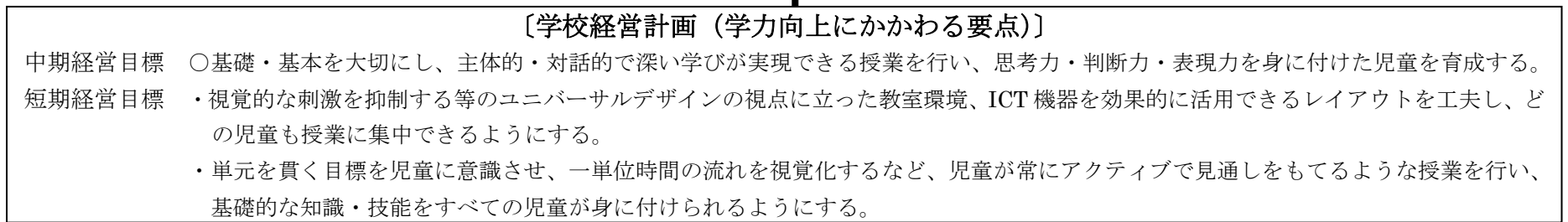
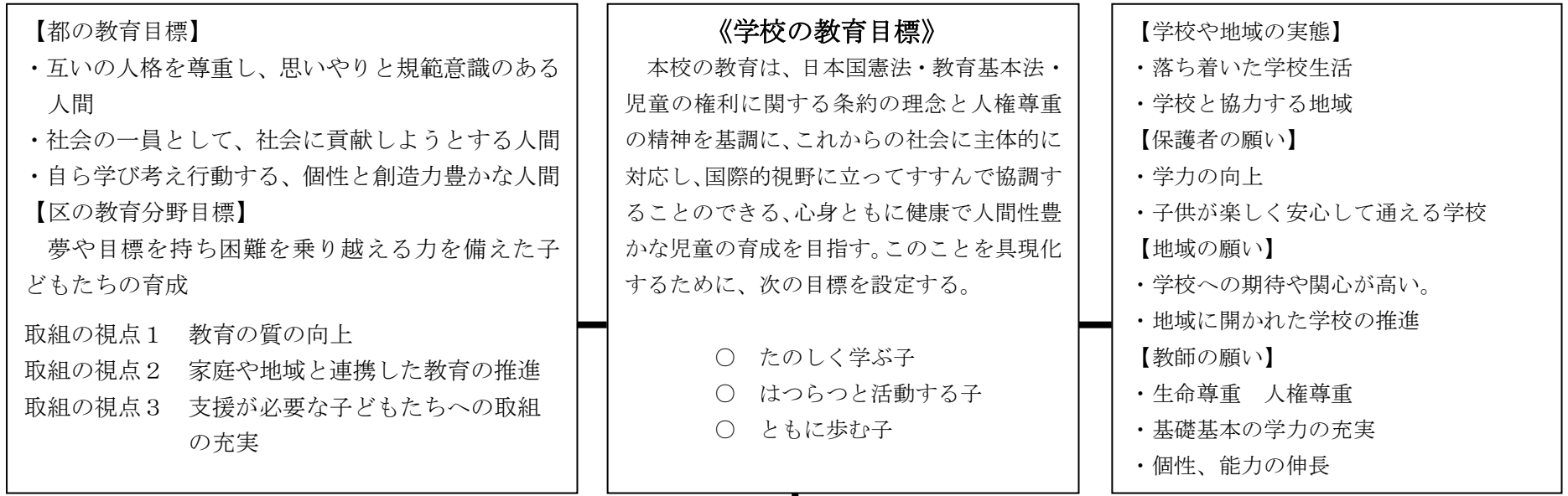


## 令和4年度 学力向上を図るための全体計画



本校の改善策		
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決、体験活動を取り入れた学習の重視</li> <li>課題解決、習熟度別学習を取り入れたチーム・ティーチング、少人数指導の推進</li> <li>自力解決学習と学習感想の重視</li> <li>各教科における言語活動の重視</li> <li>東京ミニマムの活用</li> <li>東京ベーシック・ドリルの活用</li> <li>ICT機器の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部人材等の積極的活用</li> <li>朝読書、教員による読み聞かせ、図書館員によるブックトーク等の読書活動の実践</li> <li>週に一度、朝15分間の自主学習の実践</li> <li>学期1回の学校生活アンケートの実施</li> <li>児童・保護者アンケート、学校関係者評価を生かした教育課程の編入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年3回の授業研究を通しての授業力の向上</li> <li>キャリアプラン等に基づく自主的・自発的研修の活性化</li> <li>教材研究の重視</li> <li>長期休業中の職員研修の実施</li> <li>校内OJTの実施</li> <li>教員同士の授業公開の実施</li> <li>教職員全体の服務研修</li> </ul>
評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人のよさを見付け、よさを伸ばすことで他の力を伸ばす評価計画、評価規準、評価基準の作成等による指導と評価の一体化</li> <li>自己評価、相互評価の活用</li> <li>積極的な教職員同士の情報交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的生活習慣の確立（朝食・睡眠等）</li> <li>「早寝・早起き・朝ごはん」の運動の推進</li> <li>家庭学習や宿題等の工夫</li> <li>地域の教育力の活用（地域未来塾）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4つの研究部会での小中一貫教育の研究実践</li> <li>課題改善カリキュラムの作成</li> <li>校区别協議会での協議内容を授業改善に活用</li> <li>校内での挨拶運動</li> </ul>

授業改善策の検証方法	
○東京都や国による学力調査の結果と授業改善推進プランとのPDCAサイクルによる検証	○東京ベーシック・ドリルによる検証
○小中一貫教育グループによる課題改善カリキュラムと校区别協議会でのPDCAサイクルによる検証	○学校評価による検証